

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2022
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.123, No.1 (2022. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	屋名池誠教授退任記念論文集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 第二百二十三号 第一分冊

屋名池誠教授 退任記念論文集

目次

- (I) 屋名池誠教授 履歴と回顧 業績目録
- 1 天皇・東宮の入内要請—平安朝の史実と物語の乖離— 栗本賀世子
- 13 菟玖波集の本文について—新出の素眼本卷十五と急雨亭文庫本
(渡辺本)の考察— 小川剛生
- 30 『大織冠』絵巻二種紹介 石川透
- 43 『子やす物語』考—諸本と典拠— 恋田知子
- 60 植物の漢名と近世日本の漢詩—萩の花の呼称を例に— 合山林太郎
- 79 「女の一生」の分かれ道—森本薫作・久保田万太郎演出の〈戦後〉
小平麻衣子
-
- 108 人物を表わす名詞の助数詞的用法—「選手」と「投手」を例に—
東条佳奈
- 124 方言と共通語教育の可能性—平成29年学習指導要領と
中学校国語教科書について実践方言学の立場から— 今村かほる
- 142 大垣方言における助詞・助動詞のアクセント
—形態論の観点に基づく記述— 吉安良太
- 160 新聞における漢字表記の減少過程—明治から昭和戦後まで 原科有里
- 177 明治前期一枚刷資料の漢語—『早見漢語便覧』を中心に— 木村義之
- 193 総ルビ表記の中の漢数字—『南総里見八犬伝』を中心に 片山久留美
- 208 上代から近代における形容詞「高い」の示すことがらとその周辺
嶺田明美
- 228 ラコト点、仮名、無表記—『西大寺本金光明最勝王経』訓点の
表記システム 屋名池誠